

Customer Value Creation  
April 2006

**株式会社テイツー (JASDAQ7610)**

---

**2006年2月期**

**決算説明会**

URL: <http://www.tay2.co.jp>

# TAY TWO

2006年2月期

決算説明

## 2006年2月期 比較損益計算書

### 【連結損益計算書】

(百万円)

	2005年2月期 通期(04/3～05/2)		2006年2月期 通期(05/3～06/2)		前期比
売上高	33,630	100.0%	35,556	100.0%	5.7%
売上原価	24,672	73.4%	26,200	73.7%	6.2%
売上総利益	8,957	26.6%	9,355	26.3%	4.4%
販売費一般管理費	8,167	24.2%	8,676	24.4%	6.2%
営業利益	790	2.4%	679	1.9%	14.1%
経常利益	771	2.3%	672	1.9%	12.9%
当期純利益	406	1.2%	160	0.5%	60.5%

### アイ・カフェ事業の拡大

直営・FC店舗数の増加  
およびインターピア株の  
子会社化(04/9)の影響

古本市場事業の安定成長  
年既存店増収率0.8%増

### 特別損失の計上

財務効率並びに財務の健全性維持を目的として特別損失を計上

- ・商品(古本在庫)評価損  
238百万円
- ・店舗の減損評価  
(古本市場・ブック・スクエア)  
38百万円
- ・その他  
78百万円

### 【単体損益計算書】

(百万円)

	2005年2月期 通期(04/3～05/2)		2006年2月期 通期(05/3～06/2)		前期比
売上高	31,112	100.0%	33,270	100.0%	6.9%
売上総利益	8,203	26.4%	8,626	25.9%	5.2%
営業利益	803	2.6%	677	2.0%	15.7%
経常利益	780	2.5%	646	1.9%	17.2%
当期純利益	350	1.1%	150	0.5%	57.0%

### 【参考】

設備投資額: 677百万円  
減価償却費: 510百万円  
連結データ

## 2006年2月期 事業セグメント別業績

### ■事業セグメント別売上高

(百万円)

	2005年2月期 通期(04/3～05/2)		2006年2月期 通期(05/3～06/2)		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
連結売上高	33,630	100%	35,556	100%	5.7%
古本市場事業	31,838	94.7%	32,537	91.5%	2.2%
アイ・カフェ事業	1,312	3.9%	2,539	7.1%	93.5%
EC事業	478	1.4%	478	1.4%	0.0%

### ■事業セグメント別営業利益

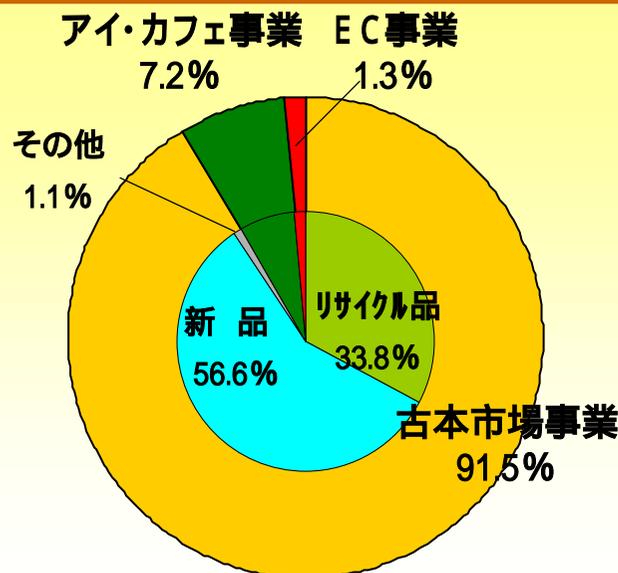
(百万円)

	2005年2月期 通期(04/3～05/2)		2006年2月期 通期(05/3～06/2)		増減率
	金額	営業利益率	金額	営業利益率	
連結営業利益	790	2.4%	679	1.9%	14.1%
古本市場事業	1,630	5.1%	1,763	5.4%	8.1%
アイ・カフェ事業	229	17.4%	182	7.2%	-
EC事業	12	2.6%	27	5.8%	-
消去又は全社	623	-	873	-	-

## 2006年2月期 品目別売上高・売上総利益【連結】

### 売上高、構成比

	百万円	
新品内訳	05/2	06/2
新刊書籍	794	745
新品ゲーム	16,530	16,277
新品CD	1,185	1,200
新品DVD	1,455	1,775
その他	142	136
合計	20,109	20,135

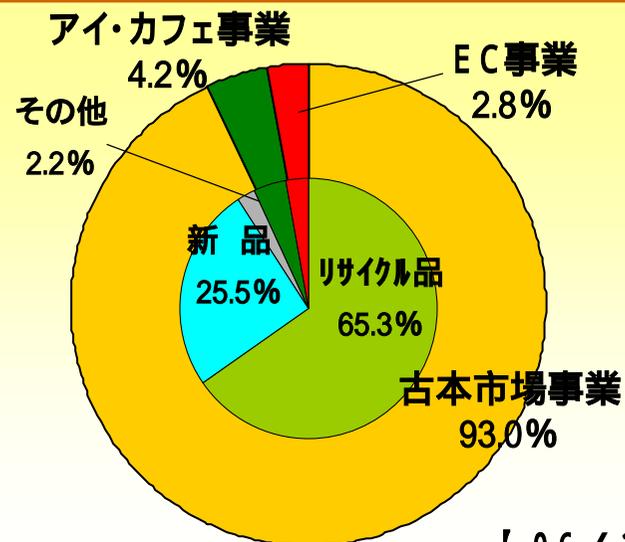


	百万円	
リサイクル内訳	05/2	06/2
古本	4,208	4,221
中古ゲーム	5,181	5,936
中古CD	1,028	836
中古DVD	918	1,035
合計	11,337	12,030

【06/2期 構成比】

### 売上総利益、構成比

	百万円	
セグメント別	05/2	06/2
古本市場事業	8,673	8,704
リサイクル	6,043	6,105
新品	2,438	2,387
その他	191	211
アイ・カフェ事業	76	391
EC事業	207	259
合計	8,957	9,355



【06/2期 構成比】

## 2006年2月期 貸借対照表【連結】

(百万円)

	2005年2月期末		2006年2月期末		増減額
流動資産	5,970	53.2%	6,152	54.1%	182
現金・預金	1,444	12.9%	1,452	12.8%	8
たな卸資産	3,704	33.0%	3,779	33.2%	75
その他	822	7.3%	921	8.1%	99
固定資産	5,251	46.8%	5,215	45.9%	36
有形固定資産	2,478	22.1%	2,418	21.3%	60
無形固定資産	365	3.3%	267	2.3%	98
投資その他	2,408	21.5%	2,529	22.2%	121
総資産	11,222	100%	11,367	100%	145

たな卸資産の  
効率化

流動負債	4,710	42.0%	4,877	42.9%	167
買掛金	1,209	10.8%	1,346	11.8%	137
短期借入金	2,142	19.1%	2,535	22.3%	393
その他	1,359	12.1%	996	8.8%	363
固定負債	2,397	21.4%	2,193	19.3%	204
長期借入金	2,071	18.5%	1,819	16.0%	252
その他	326	2.9%	374	3.3%	48
株主資本	3,872	34.5%	3,976	35.0%	104

## 2006年2月期 連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	05年2月期	06年2月期
営業キャッシュ・フロー	229	668
投資キャッシュ・フロー	1,071	773
財務キャッシュ・フロー	1,134	113
現金及び現金同等物の増減額	292	7

### 営業キャッシュフロー

- ・仕入債務の増加および棚卸資産の圧縮

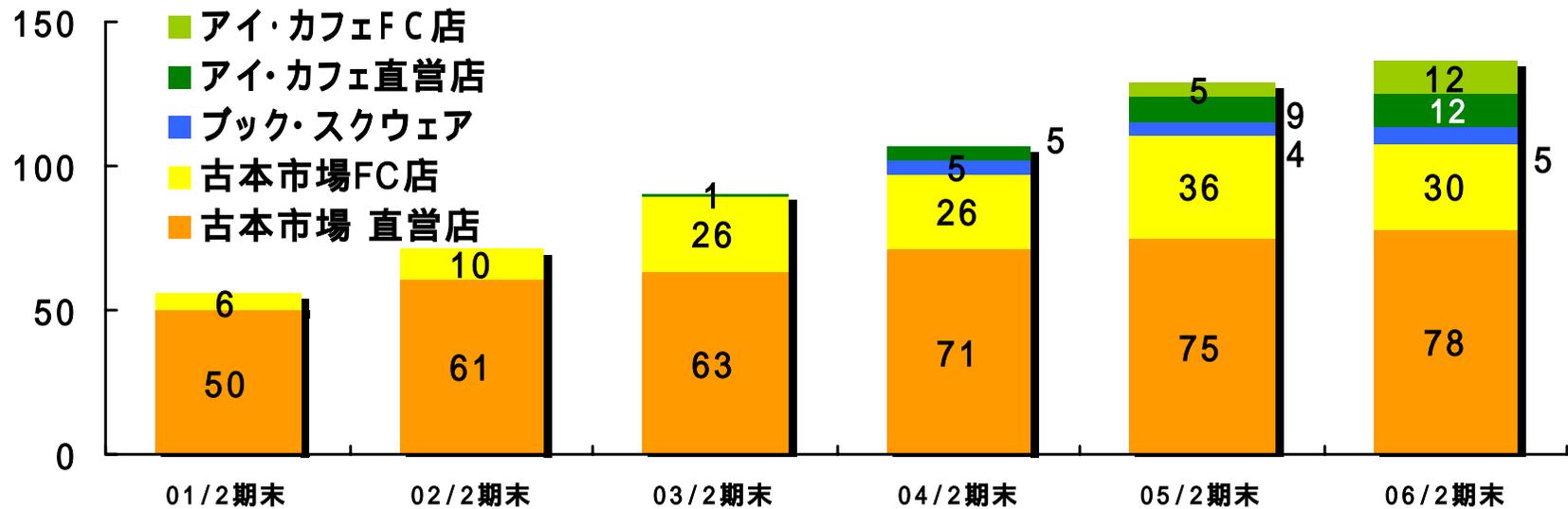
### 投資キャッシュフロー

- ・直営店の新規出店の減少

2005年2月：古本市場5店舗、アイ・カフェ5店舗

2006年2月：古本市場2店舗、ブック・スクウェア1店舗、アイ・カフェ3店舗

## 2006年2月期 出店状況



	05 / 2期	06 / 2期			増減数	
	期末	出店	退店	形態変更		期末
古本市場直営店	75	+ 2	0	+ 1	78	+ 3
古本市場FC店	36	+ 1	6	1	30	6
ブック・スクウェア	4	+ 1	0	0	5	+ 1
アイ・カフェ直営店	9	+ 3	0	0	12	+ 3
アイ・カフェFC店	5	+ 7	0	0	12	+ 7
合 計	129	+ 14	6	0	137	+ 8

形態変更は、(株)ブック・スクウェア中部がFC店として運営していた店舗を、同社の吸収合併に伴い直営店に区分し直したものです。

## 【古本市場事業】 事業概況

	05/2期	06/2期	前期比
売上高	31,838百万円	32,537百万円	+2.2%
営業利益	1,630百万円	1,763百万円	+8.1%

### 1. 在庫の効率化による資産効率の向上

(1) 中古CD在庫の圧縮

オペレーションにより在庫を約1億円圧縮

(2) 古本在庫の評価減・廃棄

財務内容の健全化、資産効率の向上  
物流センターの規模適正化による販管費削減

### 2. 店舗競争力の強化に向けた各種施策を実施

(1) 高店舗年齢の店舗改装を実施

8店舗の店舗改装を実施

(2) 店舗レイアウトの見直し

CD売場を縮小し、DVD・ゲーム売場を拡充

(3) 店舗オペレーションの強化

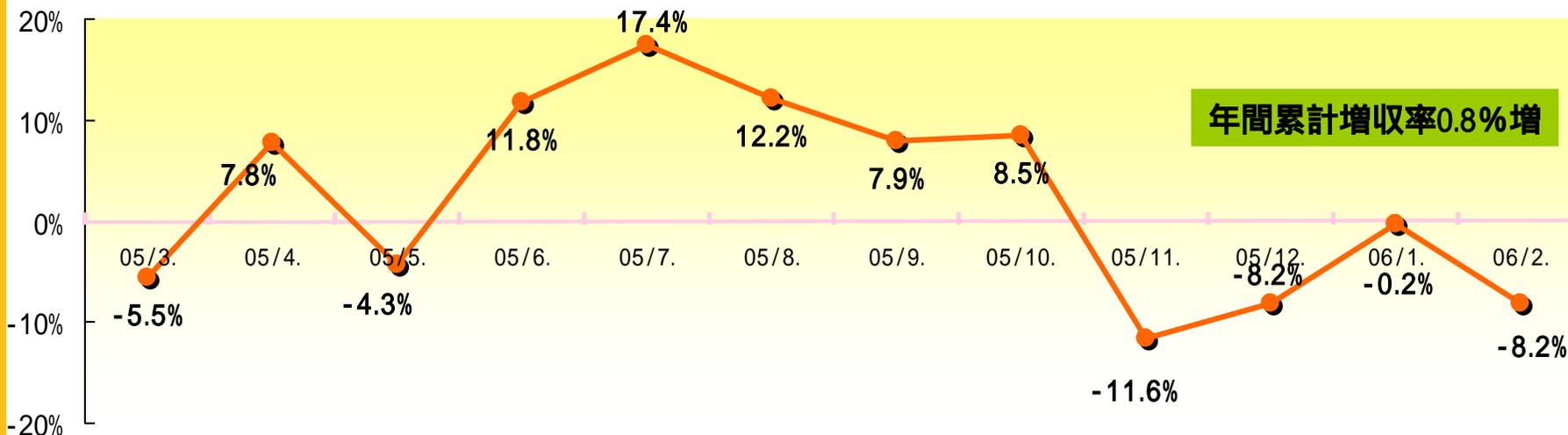
オペレーションマニュアルのスタッフへの徹底

(4) 販促活動の強化

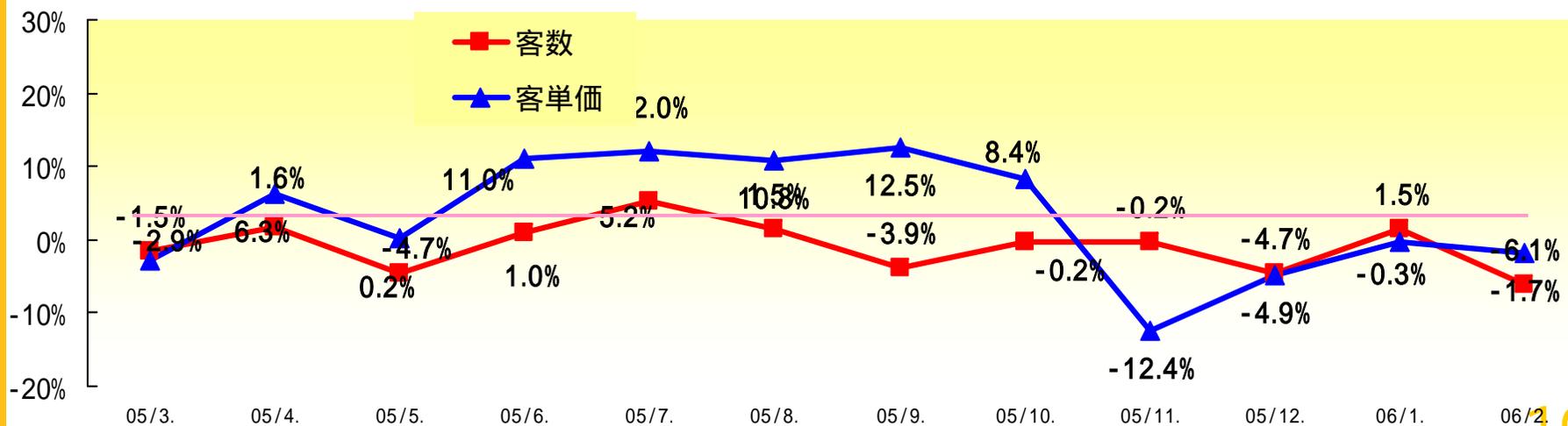
「ふるいち探検隊キャンペーン1&2」の実施  
レジトーク、手書きPOP等による売場アピール

# 【古本市場事業】 既存店月次増減率推移

## 古本市場事業 直営店(既存店)売上高増減率



## 古本市場 直営店(既存店)客数・客単価増減率



## 【アイ・カフェ事業】 事業概況

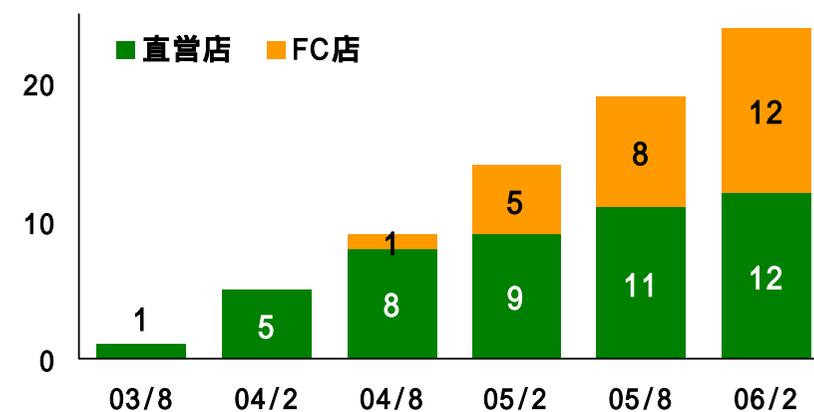
	05/2期	06/2期	前期比
売上高	1,312百万円	2,539百万円	+93.5%
営業利益	229百万円	182百万円	-

### 1. 第2の事業の柱として成長

大幅増収を達成するとともに、好調な既存店増収効果により赤字額が縮小。

### 2. 直営店・FC店合わせて24店舗に拡大

- 直営店は新規3店舗を出店し12店舗に。
- FC店は新規7店舗を出店し12店舗に。
- FC店の大量出店に向けた社内体制を構築
  - オープンサポート担当の設置
  - 開店、店舗運営関係業務のマニュアル化



### 3. インターピア、好調に推移

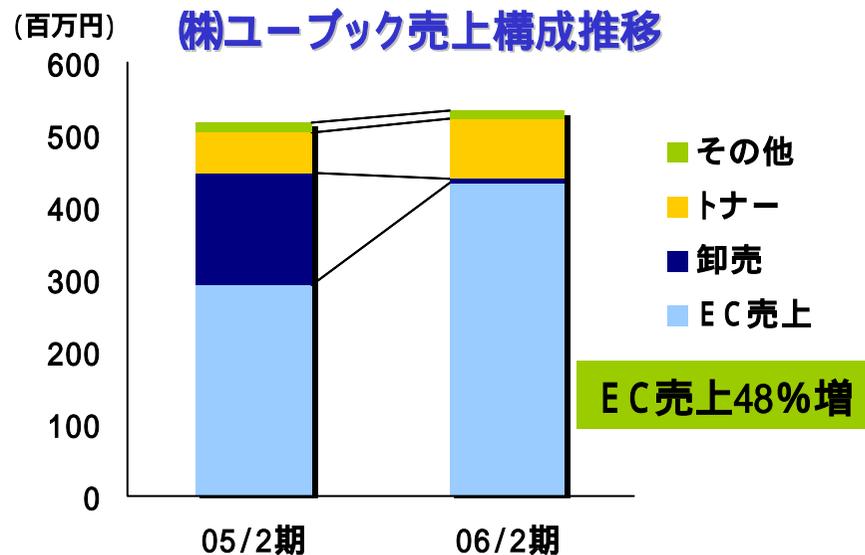
ネットカフェ市場の拡大により、Necca-Manager System Solution (ネットカフェ向け店舗運営システム)の導入店舗数が増加。

## 【EC事業】 事業概況

	05/2期	06/2期	前期比
売上高	478百万円	478百万円	+0.0%
営業利益	12百万円	27百万円	-

### 1. EC売上の増加と会員数の増加

携帯電話向けショッピングメニューを中心にEC売上が大きく拡大



### 2. ユーザー数の増加策、システム増強投資により営業損益は赤字に

- ユーザー数増を目指した販促策・・・2000円以上購入者への送料無料キャンペーンの実施
- システム増強投資の実施・・・・・・・・アクセス数増加やサイトの利便性向上に向けた先行投資

TAY TWO

2007年2月期 業績予想

## 2007年2月業績予想 - 1.連結業績予想 -

### ■連結通期業績予想

(百万円)

	2006年2月期 実績		2007年2月期 計画		増加率
売上高	35,556	100%	38,720	100%	8.9%
営業利益	679	1.9%	850	2.2%	25.1%
経常利益	672	1.9%	800	2.1%	19.1%
当期純利益	160	0.5%	340	0.9%	112.5%

EPS	317円	671円
BPS	7,852円	8,299円
ROA	5.9%	6.9%
ROE	4.0%	8.4%

### ■2007年2月期 連結四半期予想

(百万円)

	第1四半期	第2四半期	上半期	第3四半期	第4四半期	下半期	通期
売上高	8,640	8,390	17,030	8,750	12,940	21,690	38,720
営業利益	75	80	155	255	440	695	850
経常利益	65	65	130	245	425	670	800
当期純利益	30	15	45	120	175	295	340

上記収益予想は、当社および株式会社アイ・カフェの定時株主総会におけるアイ・カフェ事業部門の分社化が承認されることを条件としております。

## 2007年2月業績予想 - 2.単体業績予想 -

### ■単体通期業績予想

(百万円)

	2006年2月期 実績		2007年2月期 計画		増加率
売上高	33,270	100%	34,800	100%	4.6%
営業利益	677	1.9%	640	1.8%	5.5%
経常利益	646	1.9%	600	1.7%	7.1%
当期純利益	150	0.5%	280	0.7%	86.1%

EPS	298円	552円
BPS	8,147円	7,431円
ROA	6.6%	6.0%
ROE	3.7%	7.2%

### ■2007年2月期 単体四半期予想

(百万円)

	第1四半期	第2四半期	上半期	第3四半期	第4四半期	下半期	通期
売上高	8,090	7,730	15,820	7,390	11,590	18,980	34,800
営業利益	50	60	110	145	385	530	640
経常利益	40	50	90	135	375	510	600
当期純利益	20	20	40	75	165	240	280

上記収益予想は、当社および株式会社アイ・カフェの定時株主総会におけるアイ・カフェ事業部門の分社化が承認されることを条件としております。

## 2007年2月業績見通し - 3.事業セグメント別情報 -

### ■事業セグメント別売上高

(百万円)

	2006年2月期 実績		2007年2月期 計画		増減率
連結売上高	35,556		38,720		8.9%
古本市場事業	32,537		33,670		3.5%
アイ・カフェ事業	2,539		4,000		57.5%
EC事業	478		1,050		119.3%

### ■事業セグメント別営業利益

	2006年2月期 実績		2007年2月期 計画		増減率
連結営業利益	679	1.9%	850	2.2%	25.1%
古本市場事業	1,763	5.4%	1,805	5.4%	2.4%
アイ・カフェ事業	182	7.2%	0	0.0%	-
EC事業	27	5.8%	0	0.0%	-
消去又は全社	873	-	955	-	-

上記収益予想は、当社および株式会社アイ・カフェの定時株主総会におけるアイ・カフェ事業部門の分社化が承認されることを条件としております。

## 2007年2月業績見通し - 3.事業セグメント別情報 -

### ■事業セグメント別四半期予想

【売上高】

(百万円)

	第1四半期	第2四半期	上半期	第3四半期	第4四半期	下半期	通期
連結売上高	8,640	8,390	17,030	8,750	12,940	21,690	38,720
古本市場事業	7,680	7,140	14,820	7,300	11,550	18,850	33,670
アイ・カフェ事業	820	1,070	1,890	1,110	1,000	2,110	4,000
EC事業	140	180	320	340	390	730	1,050

【営業利益】

(百万円)

	第1四半期	第2四半期	上半期	第3四半期	第4四半期	下半期	通期
連結営業利益	75	80	155	255	440	695	850
古本市場事業	485	340	825	360	620	980	1,805
アイ・カフェ事業	160	20	180	120	60	180	0
EC事業	5	5	10	0	10	10	0
消去又は全社	245	235	480	225	250	475	955

上記収益予想は、当社および株式会社アイ・カフェの定時株主総会におけるアイ・カフェ事業部門の分社化が承認されることを条件としております。

# TAY TWO

中期事業計画

# 中期事業計画(連結)

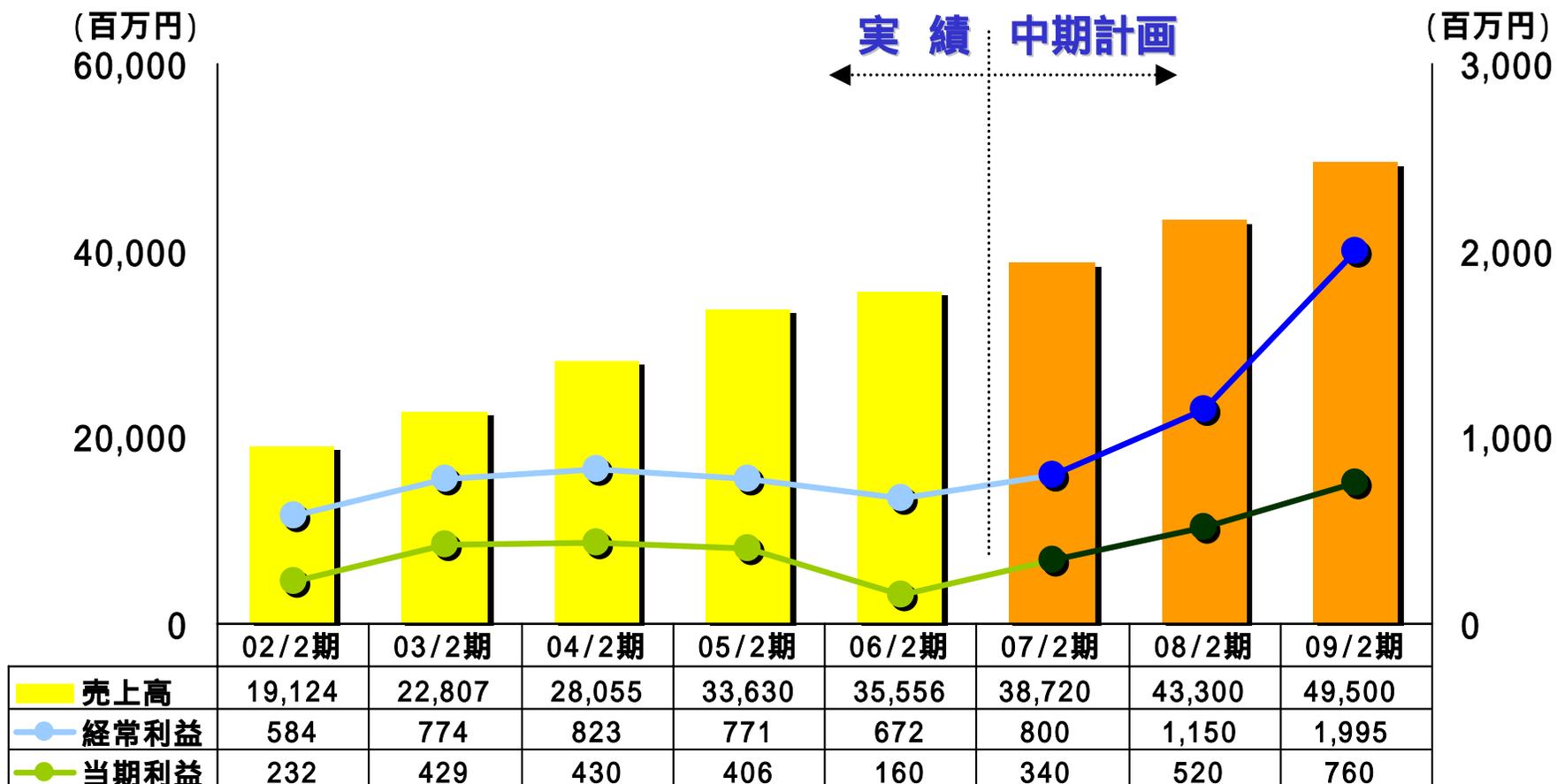
古本市場事業の  
安定成長

+

アイ・カフェ事業が大きく  
収益貢献開始

EC事業の成長

= 全社利益水準の  
飛躍的な向上



## 中期事業計画(事業セグメント別)

### ■事業セグメント別 売上高計画

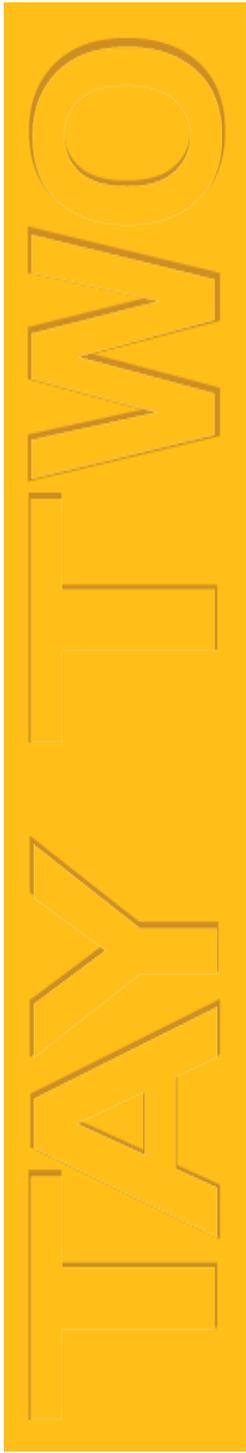
(百万円)

	06 / 2期 実績	07 / 2期	08 / 2期	09 / 2期
連結売上高	35,556	38,720	43,300	49,500
古本市場事業	32,537	33,670	35,500	37,900
アイ・カフェ事業	2,539	4,000	5,900	8,400
EC事業	478	1,050	1,900	3,200

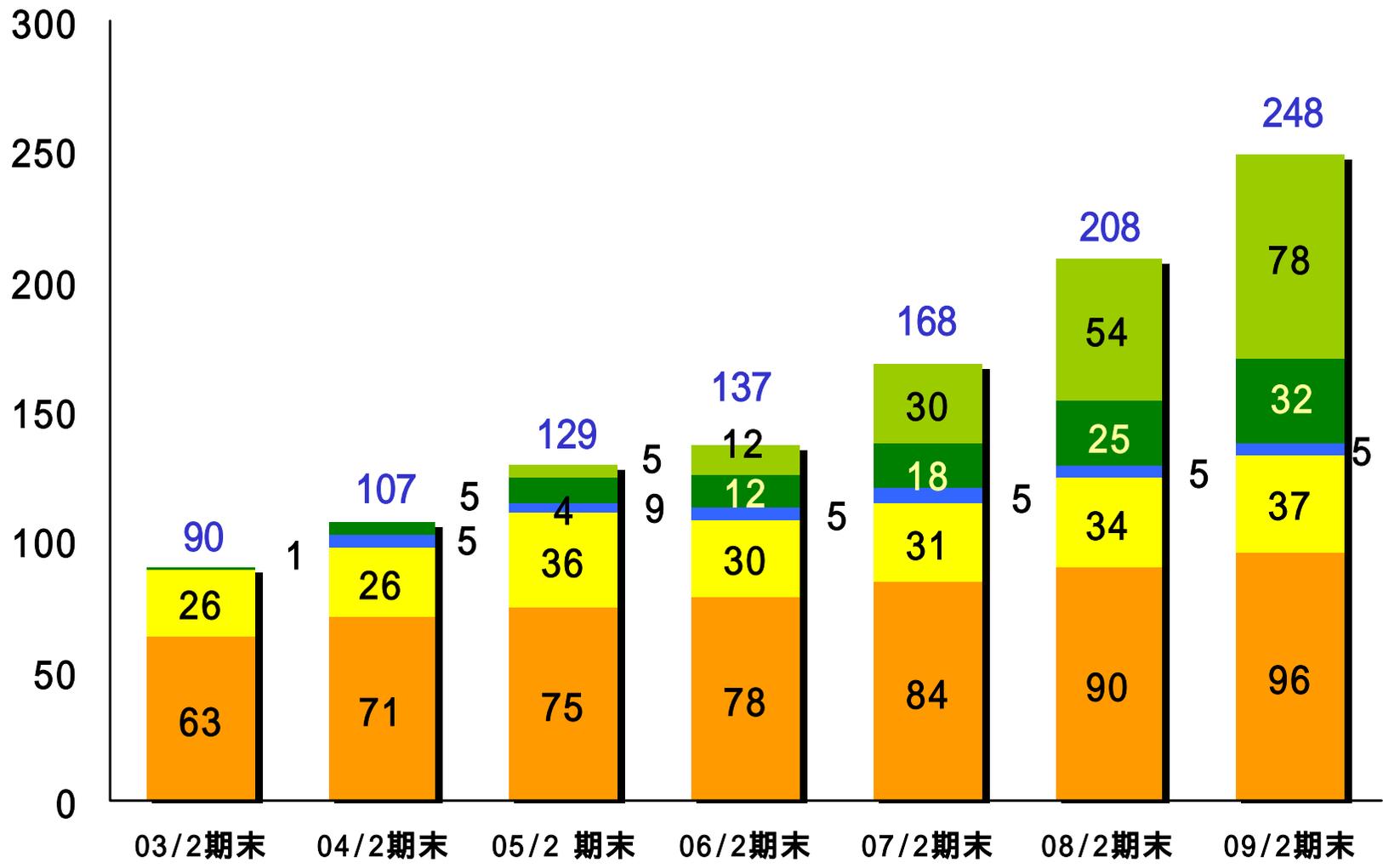
### ■事業セグメント別 営業利益計画

(百万円)

	06 / 2期		07 / 2期		08 / 2期		09 / 2期	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率
連結営業利益	679	1.9%	850	2.2%	1,200	2.8%	2,045	4.1%
古本市場事業	1,763	5.4%	1,805	5.4%	1,830	5.2%	1,950	5.1%
アイ・カフェ事業	182	7.2%	0	0.0%	300	5.1%	900	10.7%
EC事業	27	5.8%	0	0.0%	60	3.2%	260	8.4%
消去又は全社	873	-	955	-	990	-	1,060	-



## 中期出店計画(連結)



■ 古本市場 直営店 ■ 古本市場FC店 ■ ブック・スクウェア  
■ アイ・カフェ直営店 ■ アイ・カフェFC店

# 古本市場事業

中期戦略および利益計画

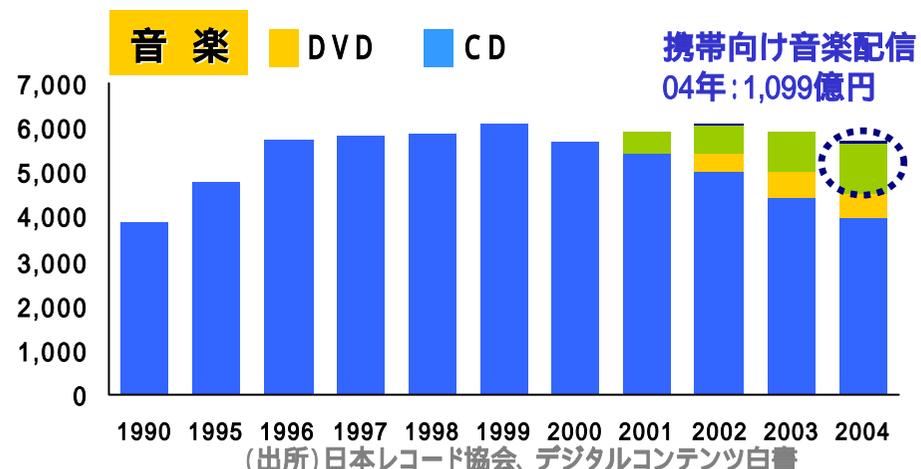
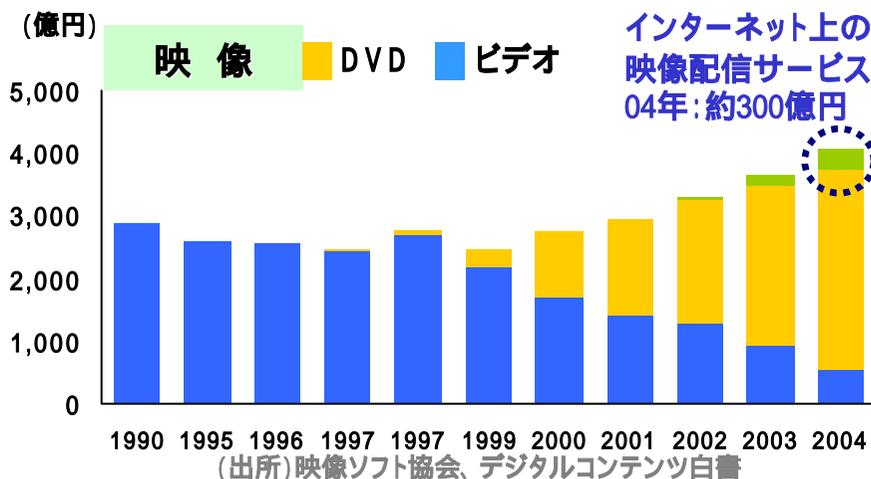
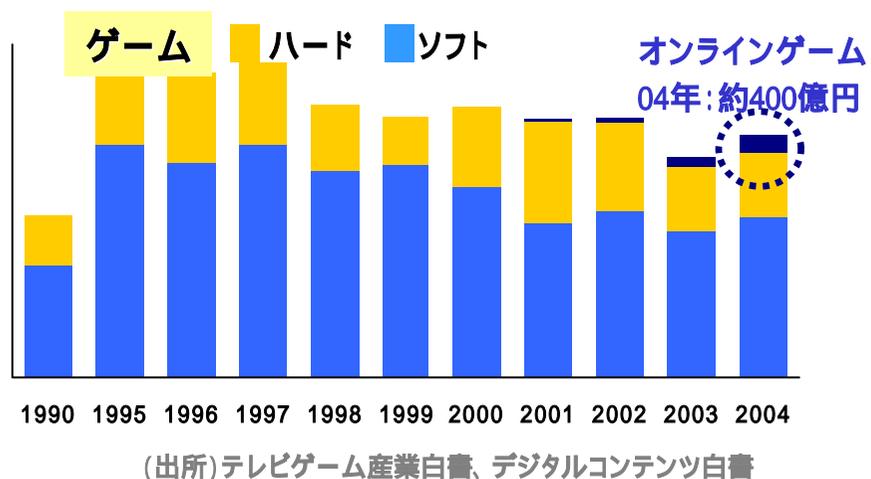
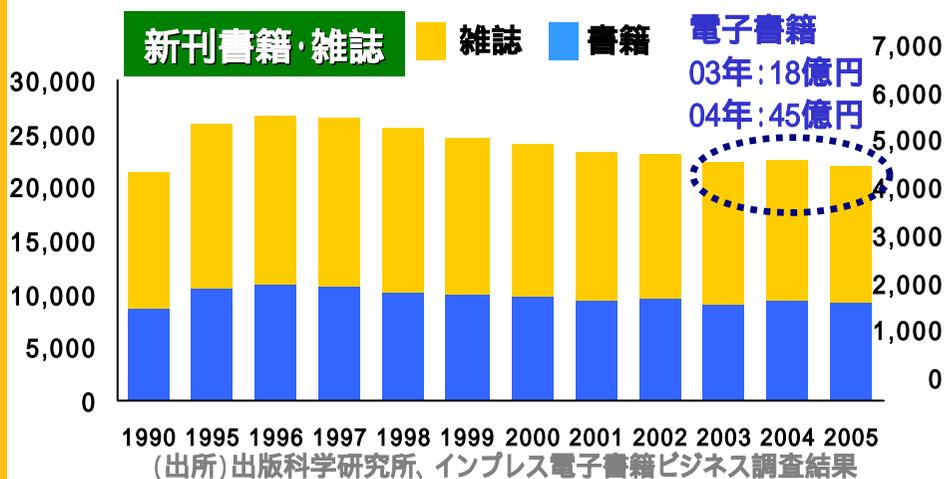
# 古本市場事業 - 外部環境認識 -

## 市場の成熟化の進行

- ・古本マーケットの成熟化
- ・TVゲーム、音楽CD市場の縮小傾向
- ・オンライン配信、ネット販売の成長

## 市場の寡占化・競争激化

- ・競合他社との出店競争の激化
- ・小規模ゲーム専門店の淘汰



# 古本市場事業 - 基本戦略および中期利益計画 -



## ■古本市場事業 セグメント別中期計画 (百万円)

	06 / 2期 実績	07 / 2期	08 / 2期	09 / 2期
売上高	32,537	33,670	35,500	37,900
営業利益	1,763	1,805	1,830	1,950
営業利益率	5.4%	5.4%	5.2%	5.1%

## 基本戦略

店舗競争力の強化による安定的な利益成長の実現

## 古本市場事業の中期戦略 - 出店戦略 -

### 1. 既存店舗強化策

店舗改装、スクラップ アンド ビルドの継続的な実施

店舗改装 毎期10数店舗の改装を予定。

スクラップ アンド ビルド 物件検索を強化し、継続的に実施。

### 2. 新規出店戦略

ドミナントエリア(首都圏・京阪神・岡山 広島)への直営店出店継続による  
ドミナントエリアの早期完成を目指す。

### 3. 業態戦略

新業態店舗の開発・トライアル出店

・新刊 + 古本パッケージ店舗、駅前小型「売り専門」店舗 など

# 古本市場事業の中期戦略 - 店舗運営戦略 -



## 1. 売場力の強化

POP、サインツール類の内容一新

本部コントロールによるメディアレイアウト、棚割りの定期的な変更

季節、流行、トピックスを敏感に反映させた売場演出

店舗オペレーションの効率・簡素化の推進

「見つけやすく」「買いやすく」「きれい」な店内作り



古本市場店舗内

## 2. 販促の強化

ふる1カードによるポイントプログラムを、より魅力あるものに再設計

マスメディアを活用した販促を強化

会員分布とのマッチングによる折込チラシの効率化



## 古本市場事業の中期戦略 - 店舗運営戦略 -

### 3. 商品戦略

- 古本:** 売れ筋商品の把握と買取の強化による品揃えの充実  
文庫・文芸の取扱い強化
- ゲーム:** 新型ゲーム機の発売を見据えた販売体制の強化
- DVD、CD:** 中古DVDの買取強化  
CDの取扱い縮小
- その他:** 新たなリサイクル品の拡販を計画

### 4. 在庫の適正化

#### 古本、中古CD在庫の適正化の推進

物流センターにおける、古本在庫管理コストの低減  
低稼働商品の撤去による売場の有効活用



物流センター



# アイ・カフェ事業

中期戦略および利益計画

# アイ・カフェ事業 - 外部環境認識 -

## 市場の高成長が継続

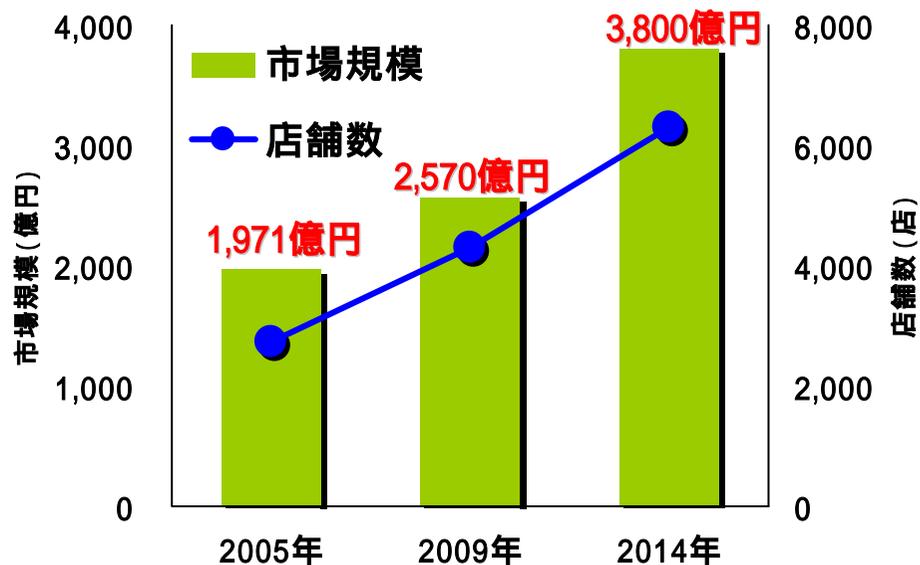
- ・業態の認知度向上
- ・店舗の大型化
- ・オンラインゲームの普及・利用者増加

## 競争激化と市場の内包リスク

- 成長市場における競争の激化
- ・店舗増加によるサービス向上競争
- 市場の内包リスク
- ・インターネット利用に絡む犯罪の増加

### 複合カフェ市場の市場規模、店舗数予測

(出所: 日本複合カフェ協会)



今後の成長市場ではあるが、  
競争に打ち勝ち、リスク低減のためには  
全社的な対応力が不可欠

複合カフェ: 時間課金制を基本とし、漫画、ゲーム、インターネット等のコンテンツを提供する時間消費型施設の総称

# アイ・カフェ事業 - 基本戦略および中期利益計画 -



## ■アイ・カフェ事業 セグメント別中期計画 (百万円)

	06 / 2期 実績	07 / 2期	08 / 2期	09 / 2期
売上高	2,539	4,000	5,900	8,400
営業利益	182	0	300	900
営業利益率	- %	0.0 %	5.1 %	10.7 %

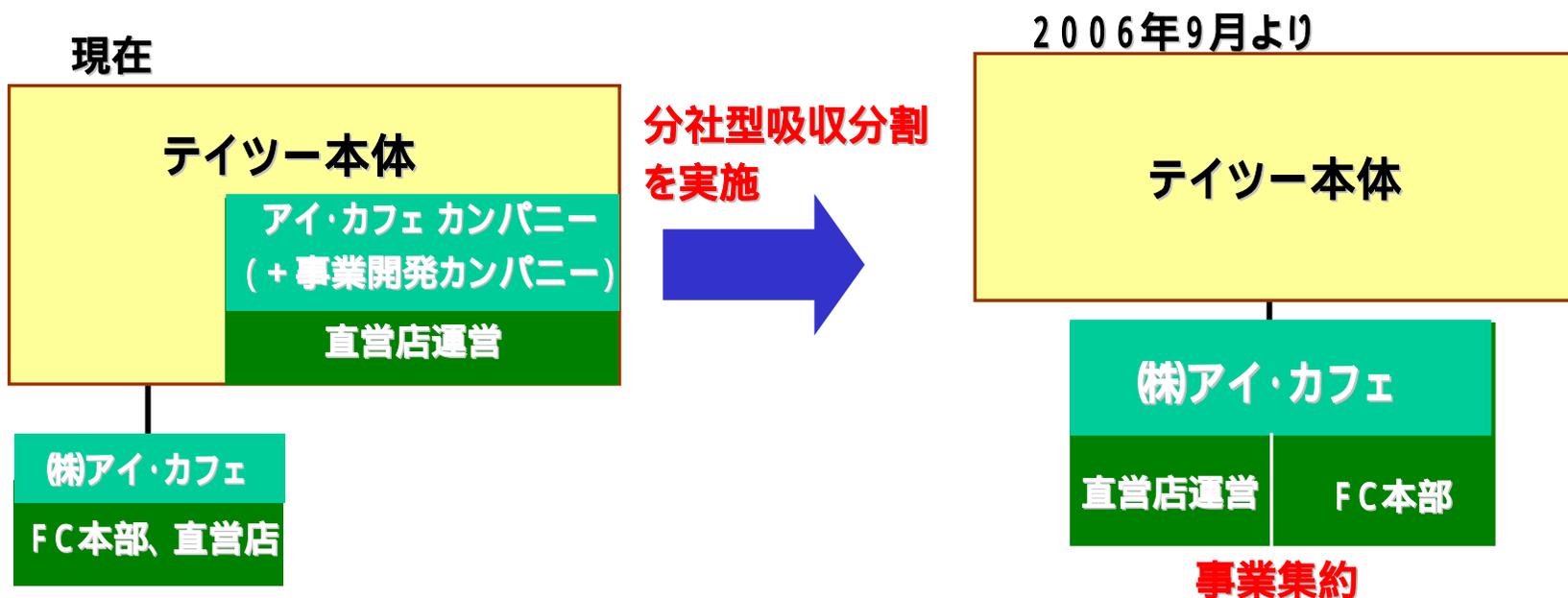
## 基本戦略

出店加速による事業規模の拡大と店舗収益力の向上により早期の収益貢献を目指す。

# アイ・カフェ事業の中期戦略 - 事業統合 -

## アイ・カフェ事業の統合

今後の直営店・FC店の積極展開を見据え、9月1日をもってテイツーのアイ・カフェ事業を分社型吸収分割により株式会社アイ・カフェに承継させる。



直営店舗運営機能・フランチャイズ本部機能の集約による

機動的な意思決定

業務効率の改善

今後の積極出店による本格的拡大期に向けて事業基盤を整備

当社並びに(株)アイ・カフェの次回定時株主総会での承認を前提としております。

# アイ・カフェ事業の中期戦略 - 出店戦略 -

## 1. 多店舗展開の加速

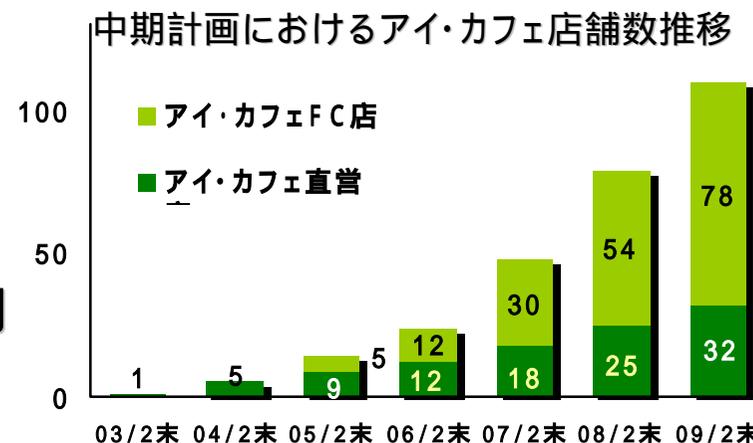
FC店によりウエイトを置き、出店を加速化

- ・直営店 06/2末 12店舗      09/2末 32店舗
- ・FC店 06/2末 12店舗      09/2末 78店舗

全国主要・中核都市へ直営フラッグシップ店展開



周辺地域にFC店、直営店出店



## 2. FC大量出店への対応

開店支援、店舗運営支援体制の確立

オープンバイザー、スーパーバイザーのスキルアップと人員増  
物件情報の強化と出店基準の精度アップ

出店コストダウン

什器類の規格化の推進  
優良な納入業者の開拓

## 1. 新規会員の獲得強化

事前リサーチに基づく集中的初期販促の実施

メンバーシップカードの全店共通化による利便性の向上とオペレーションの簡素化

## 2. 顧客サービスの向上

フードメニュー(グランドメニュー)定期入替、季節ごとのフード企画の開発・販売

映像配信サービス(VOD)の導入と拡充

## 3. 店舗収益力の向上

店舗オペレーションの標準化による、店舗間のばらつきの排除

人員シフトの適正化による、オペレーションの効率化

コスト意識の徹底による「むだ・むら」の排除

# アイ・カフェ事業の中期戦略 - 店舗運営戦略

## 4. 新業態店舗の開発

本年5月に札幌でオープン予定の複合商業施設「NORBESA」内に岩盤浴施設を併設した

アイ・カフェ デトックススパ plus 石の恵 NORBESA店をオープン

ネットカフェ:280坪 岩盤浴施設:100坪(VIPルーム 3室設置)



NORBESAの完成予想パース

今後も複合パッケージ化を進め、他社との差別化を徹底



アイ・カフェ

企業理念に沿った複合化

岩盤浴



「驚きと感動の創造」

他店にないサービスの提供

顧客ニーズの強いVIPルーム  
豊富なフリードリンク

「快適な時間と空間の提供」

健康・美容・疲労回復

# TAYTWO

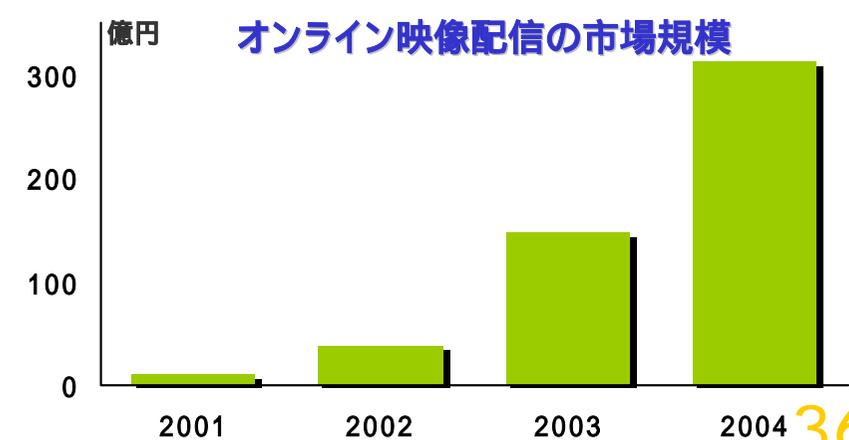
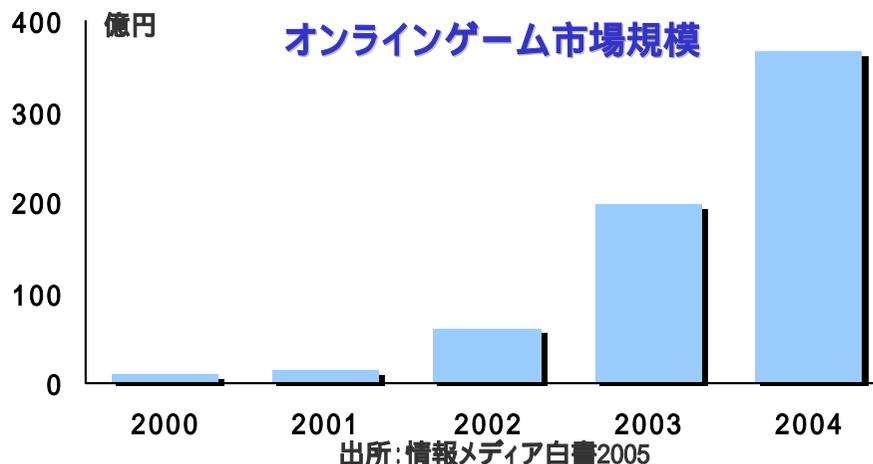
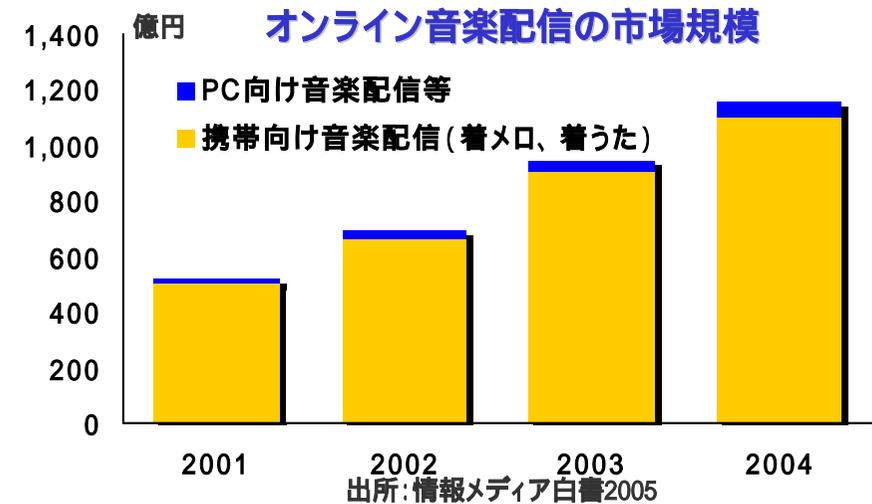
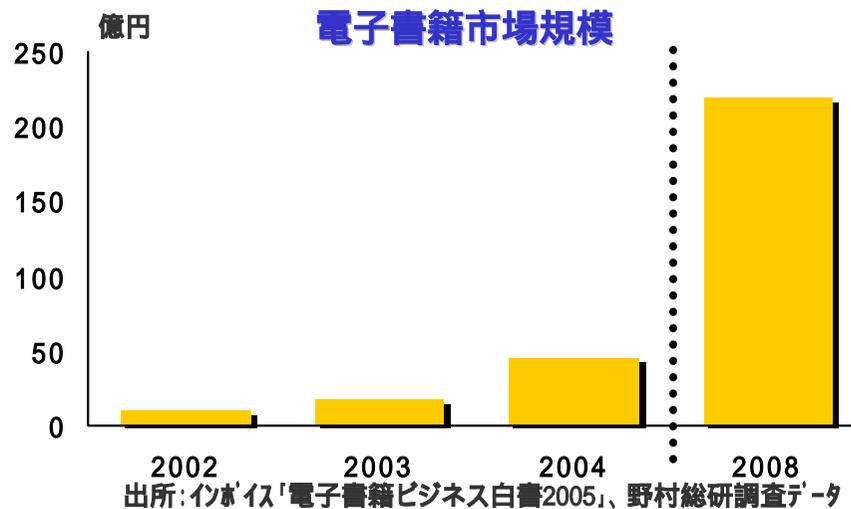
## EC事業

### 中期戦略および利益計画

# EC事業 - 外部環境認識 -

## コンテンツ流通のパッケージソフトからオンラインへの流れが加速

- ・ブロードバンドの普及・拡大・一般化
- ・携帯電話の普及(第3世代携帯電話の加入者増加)
- ・Eコマース市場の普及・拡大 2004年 5.6兆円(モバイル・コマースは9,710億円)
- ・配信コンテンツの増加



## EC事業 - 基本戦略および中期利益計画 -

### ■EC事業 セグメント別中期計画

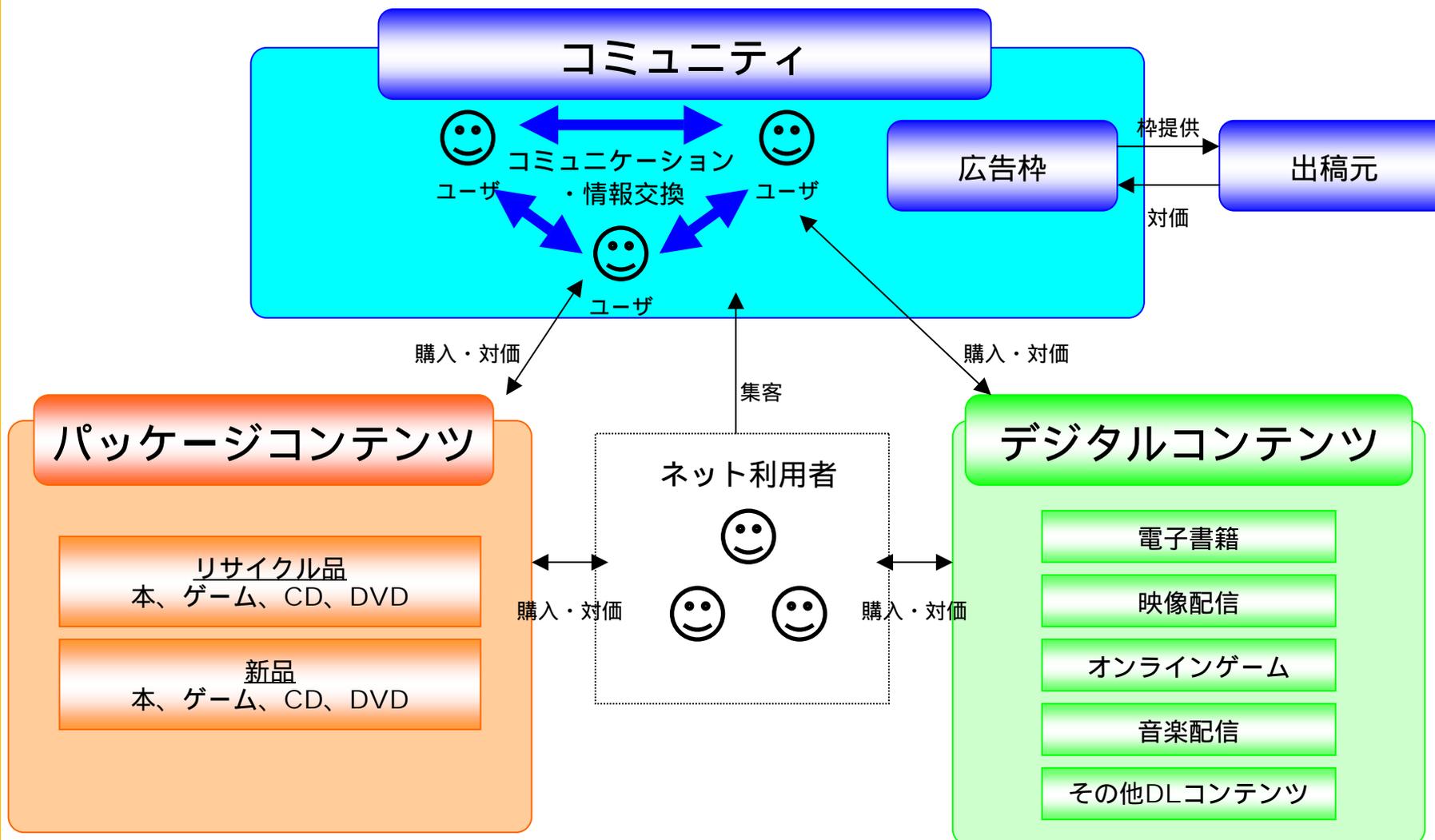
(百万円)

	06 / 2期 実績	07 / 2期	08 / 2期	09 / 2期
売上高	478	1,050	1,900	3,100
営業利益	27	0	60	260
営業利益率	- %	0.0 %	3.2 %	8.4 %

### 基本戦略

取扱い商材の拡大、コミュニティ機能の付加による、  
総合メディアサイトへの進化

# EC事業 - 中期ビジネスモデル -



私たちは、『コンテンツを楽しむ環境』を創造・提供し、  
その市場の拡大と発展に寄与します。

## 1. コミュニティサイトの運営

### ユーザーのエンタメライフの活性化

コミュニティの提供による、ユーザー間の情報交換の活性化  
エンターテイメント・コンテンツの新たなニーズの喚起

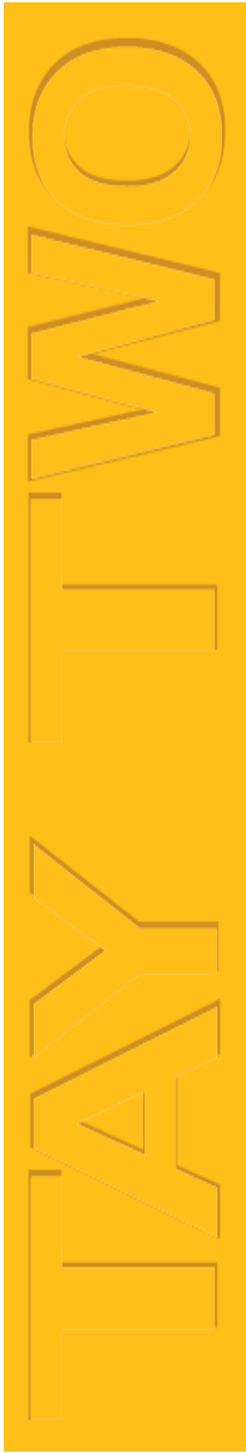
## 2. デジタルコンテンツ配信

### コンテンツ市場の流通構造改革と拡大

電子書籍をはじめとする、デジタルコンテンツのマーケットプレイスを構築  
いわゆるロングテールコンテンツの取扱いが可能になることによる新しい市場の創出

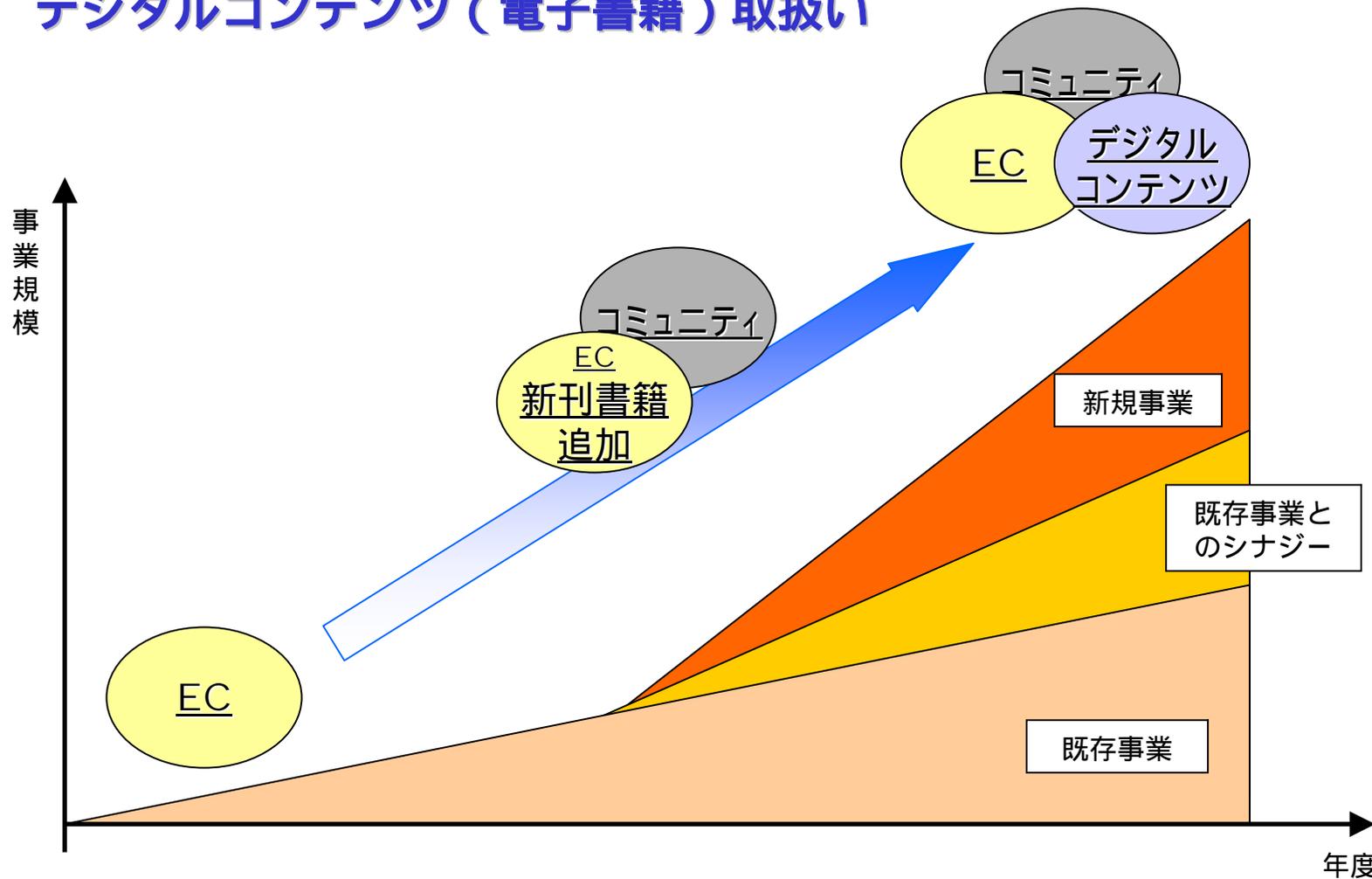
## 3. 新刊書籍の取扱い

ワンストップショッピングによる顧客満足度の向上



# EC事業 - 中期事業拡大イメージ -

新刊書籍取扱いによる売上・利益の拡大と集客力向上  
コミュニティサイト運営による集客力の向上  
デジタルコンテンツ（電子書籍）取扱い



TAY TWO

參考資料

# 会社概要

社名	株式会社テイツー (英訳名 TAY TWO CO.,LTD.)
設立日	1990年4月16日
上場日	1999年9月14日:JASDAQ
本社	岡山県岡山市今村650-111
東京本部	東京都港区芝公園2-4-1秀和芝パークビルA館8F (2005年10月開設)
代表者	代表取締役社長 大橋 康宏
事業内容	1.古本、TVゲームソフト・ハード、CD、DVD等の新品及びリサイクル品の販売・買取及ビデオレンタル業務 2.インターネット・コミック・カフェ「アイ・カフェ」の運営 3.インターネットサイト  古本市場 <a href="http://www.ubook.co.jp">www.ubook.co.jp</a> の運営(連結子会社:(株)ユーブック)
グループ会社	株式会社ユーブック、株式会社アイ・カフェ、インターピア株式会社、
従業員数	正社員352人、パート・アルバイト1,185人、計1,537人(2006年2月末現在)
資本金	1,149百万円(2006年2月末現在)
発行済株式数	546,900株:単元株制度なし(2006年2月末現在)
株主数	6,958名(2006年2月末現在)

# Mission

---

## 経営理念

**「満足を創る」**

## スローガン

**Customer Value Creation ~ 顧客価値の創造 ~**

## 行動指針

### ティツターの七感

- ・変化を観る「目」をもつ
- ・お客様の声を聴く「耳」をもつ
- ・親しみと感謝の気持ちを表す「口」をもつ
- ・自らを律し、常に向上しようとする「心」をもつ
- ・常に新しい価値と独創性を創り出す「頭」をもつ
- ・お客様が次に何を望むのか、時代がどう変わるのかを感じる「勘」をもつ
- ・お客様に親身にそしてけなげに接するひたむきな「姿勢」をもつ

テイツー・グループ・スローガン

# Customer Value Creation

## ～ 顧客価値の創造 ～

本資料は、2006年2月期の業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2006年4月20日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

IR窓口： 経営企画部 片山 靖浩・富矢 武志・徐(ソウ)チョンホン

TEL03-5408-5532 FAX03-5408-5501

E-mail: [ir@tay2.co.jp](mailto:ir@tay2.co.jp)

URL: <http://www.tay2.co.jp>